

# 家庭学習の手引き（保護者用）

笠間市立北川根小学校

学力を向上させるためには、家庭学習が大切です。学校だけでなく、家庭でも毎日、予習・復習に取り組むことで、授業がよく分かるようになり、学習が楽しくなります。

小学生のうちに身に付いた机に向かう習慣が、後々の学習に大きな影響を与えます。今のうちに机に向かう習慣を身に付けさせましょう。

## 1 家庭学習のワンポイント

- (1) 決まった場所で学習できるようにしましょう。遊ぶ場所と学習する場所を区別すると、学習と遊びのメリハリが身に付きます。
- (2) 机の上をいつもきれいにする習慣を身に付けさせましょう。机の上に、ゲームやまんがなど、学習以外のものを置かせないようにしましょう。
- (3) 教科書、ノート、筆記用具、ドリル、辞書、資料等の必要なものを用意してから始められるようにさせましょう。
- (4) テレビや音楽、ゲーム、スマートフォン等の電源を消すようにさせましょう。「ながら勉強」は、学習が身に付きません。
- (5) 学習がすんだら、すぐに次の日の用意をさせましょう。全部済ませてから、気持ちよく遊べるようにさせましょう。

## 2 家庭学習でやることと順番

- (1) 宿題 … まず、宿題は必ずやって、次の日に提出できるようにさせましょう。
- (2) 読（4年以上は黙読） … 次に、国語の教科書を読む習慣を身に付けさせましょう。
- (3) 自主学習 … そして、時間があったら「学習の手引き」の中から選んで、学習できるようにさせましょう。

## 3 学習時間の目安 ※学年プラス10分が目安です。

1年生	20分	3年生	40分	5年生	60分
2年生	30分	4年生	50分	6年生	70分

## 4 家庭学習における保護者の役割

### (1) 学習時間の確保

塾や習いごと、スポーツなど、子どもたちはやるものがたくさんあります。短い時間でも、決められた時間は「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせてください。身に付く（自分で動くようになる）までは、保護者が時間の管理したりや声をかけたりしましょう。「何時から何時まで勉強する。」ということ、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定してください。

### (2) 学ぶための環境づくり

お子さんが落ち着いた環境で学習ができるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。テレビが気になったり、ゲームやまんがなどが視界に入って集中できなかつたりするようなことがないようにしましょう。

### (3) 見届けと励まし

お子さんが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけてください。ほめたり、励ましたりすることで、おこさんはどんどんやる気を出します。何がよかったのか、具体的に伝えるとより効果的です。また、音読カードや家庭学習の記録にサインや印を押すなどの見届けをしてください。